

足立区立梅島小学校

学校長 瀬谷 智代 様

足立区立梅島小学校 開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

本年度は、コロナ以前の教育活動の形に戻しつつも新たな教育活動の在り方を考える年となりました。4つの学校教育目標「進んで学習するこども」「仲良く助け合う子ども」「礼儀正しい子ども」「元気でじょうぶな子ども」を掲げ、これらの目標を実現すべく、下記の内容で、この1年を取り組まれました。

- 「学力向上アクションプラン」に関しては、「基礎的・基本的な学習事項の確実な定着」を目標にして取り組まれました。その中で、「パワーアップタイム」「放課後補習教室」「サマースクール」「家庭学習週間」等による個別指導の充実を図ってこられました。区学力調査結果では、国語の通過率は目標設定を上回り、算数は少し下回ったものの一定の成果を見せています。引き続き一人一人に応じた指導の充実を図り、子ども達の学力向上を目指してほしいです。
- 「体力向上」に関しては、課題である投力の向上に向けて取り組まれました。投動作獲得のための遊びや運動を取り入れた指導を行うために研修を実施し、全学年で取り組みその成果が表れています。さらに、運動する環境を整え、運動する機会を増やすなど来年度の具体的な体力向上策の実施とその成果を期待するところです。
- 「安全・安心な学校生活環境の充実」に関しては、いじめ対策の推進や体罰防止の徹底、特別支援教育の充実に取り組まれました。いずれも、現在の学校教育課題に即した重要な課題であり、継続して取り組まれることを期待します。特に、いじめ対策は、児童らによる自治的な取組にも力を入れ、児童の視点に立ったいじめ防止を推進していただきたいと考えます。
- 「保護者や地域と共に子供を育む活動の充実」に関しては、ゲストティーチャー及びボランティアの活用・PTA及び協議会との連携活動、学校ホームページの活用・保護者と学校との相互連絡が可能なメールシステムの活用など、十分な達成度を遂げ評価できました。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 「個別指導の充実」や「家庭学習週間」の取組により、全ての児童の学力向上に取り組んでおり成果が表れています。さらに、下学年から学習内容をしっかり定着するための系統的な学習指導を今後も継続してほしいです。
- 学習に対する意欲を高め、自ら進んで考え、行動することができる子ども達に成長するよう、体験的な活動を一層重視してほしいです。そのためには保護者・地域の方々の協力が不可欠であると考えます。

3. その他

現在の学校教育は、多様性への対応、いじめ・不登校等への対応、教員の働き方改革など、対応すべき課題が山積しています。そのような中で、子ども達の健全育成を図っていくためには、改めて学校・保護者・地域がそれぞれの役割を明確にしながらも、その連携を深めていくことだと考えます。今後も保護者・地域への情報発信を積極的に実施し、子供たちの未来を共に考えるよう努めていきたいです。